

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
学科	古美術研修	専任教員、北 進一	1単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ファインアート科、ビジュアルデザイン科3年生合同で行動。京都に3泊4日。仏像や障壁画を拝観。一般には公開していない特別拝観の寺院などに行く。（等伯の襖絵・等伯の障壁画・探幽の障壁画・狩野永岳の襖絵など）			
【講義概要】			
研修で見る寺院、仏閣にある仏像や襖絵、障壁画などは図録や美術書といった図版でしか普段は目にすることができません。たまに美術館で特別展示を行うこともあります。現地で間近に見るのとは全く雰囲気も感じ方も違います。参加することはたとえ分野が違っていても今後の制作にいい刺激になることでしょう。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	東京から京都へ新幹線で移動		
2	智積院宝物庫見学		
3	南禅寺特別拝観見学		
4	平等院見学		
5	石峰寺見学		
6	醍醐寺見学		
7	広隆寺、東寺見学		
8	京都から東京へ新幹線で移動		
【成績評価方法】			
研修の参加を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
講義形式を基本とする。研修に参加しない学生にはレポート課題を提出。  和光大学卒業後、中国・山東大学に留学。群馬県立女子大学兼任講師。専攻は日本および東洋美術史。著書に『ほとけを知る－仏像めぐりハンドブック』（シンミュージック・エンターテイメント）『アシュラブック』（美術出版社）、共著に『カラー版東洋美術史』（美術出版社）。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	エディトリアルデザイン	奥定泰之	3単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
エディトリアルデザインをより深く考察し、単なるアプリケーション操作を超えたエディトリアルデザインを具体的に考え、制作する。			
<b>【講義概要】</b>			
タイポグラフィ、レイアウト、写真加工、色面構成、素材選択などの技術を総合させて、エディトリアル（編集）という意味を考えつつ、作品を制作する。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作プランの発表と指導	26	制作
7	制作	27	講評会
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	進行のチェックと指導		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	最終チェックと指導		
16	制作		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  1970年愛媛県生まれ。グラフィックデザイナー。株式会社オクサダデザイン代表。主に書籍や雑誌のデザインを手がける。第40回、46回造本装幀コンクール入賞。第2回竹尾賞優秀賞。共著に『感性と社会』（論創社）、『近代デザイン史』（武蔵野美術大学出版局）。JAGDA会員。早稲田大学非常勤講師。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科昼間部（3年制）	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	セルフブランディング	田中北斗	3単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
各自の進路や課題に合わせ、自信をブランディングし個別の課題を制作することで、ポートフォリオ強化につなげます。			
<b>【講義概要】</b>			
各自の進路を見据え、希望するジャンルや方向性を検証。 ポートフォリオに不足している作品など、各自に合った課題を制作していただきます。 ①課題説明 及び ヒアリング（各自のポートフォリオ内容をもとに課題を決定） ②各自の課題内容に沿って制作 ③作品完成後は、ポートフォリオ用に撮影を実施 ④講評は個別に行います			
回	授業計画及び学習の内容		
1	課題説明・ヒアリング	18	制作
2	制作	19	制作
3	アイデアチェック	20	制作
4	制作	21	作業 及び 撮影
5	制作	22	作業 及び 撮影
6	制作	23	制作
7	作業 及び 進捗確認	24	制作
8	制作	25	制作
9	制作	26	制作
10	制作	27	講評会
11	作業 及び 進捗確認		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	制作		
16	制作		
17	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  手術室看護師からヘアメイクアップアーティストへ転身し、その活動の中でアート作品を作り始める。鮮やかで透明な樹脂を組み合わせた独自の作品は、不可思議でスタイリッシュであると同時に、生命の持つエネルギーを内包しているかのような躍動感と優さが入り混じっている。またデジタルやパフォーマンスとの今までにない新しいコラボレーション作品を展開し活躍の場を国内外に広げている。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	UIデザイン	中須賀美和子	1.5単位 36時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
ひとつのテーマから情報を整理し、Adobe XDを使用してデジタルコンテンツを設計するまでのプロセスを身につけることが目標です。常に客観的に観察する視点を持ちながら、UIデザインを通してサービスそのものを考えていきます。			
【講義概要】			
UIデザインの基礎として、デジタルコンテンツにおけるユーザー体験の向上とその考え方を学び、実践に役立つ演習を試みます。ウェブサイト・スマホアプリにおける情報の整理、ワイヤーフレーム設計、導線や画面遷移といったウェブの仕組みを理解し、修得します。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション・UIとは		
2	実習   セルフコンテンツ制作企画		
3	実習   セルフコンテンツ制作		
4	リサーチ報告・発表		
5	ガジェットアプリ制作 ①		
6	ガジェットアプリ制作 ①		
7	講評		
8	ガジェットアプリ制作 ②		
9	ガジェットアプリ制作 ②		
10	講評		
11	最終課題   制作		
12	最終課題   制作		
13	講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。 <u>1979年愛知県生まれ。名古屋芸術大学美術学部デザイン学科卒業。レシップ株式会社デザイン室勤務を経て株式会社DELUXEに入社。ウェンディーズ・ファーストキッチン、L'OCCITANE、ROLA×REBECCA MINKOFF、Cafe de Miki with Hello Kitty、キャラクター制作・監修にふなっしー、ガチャピン・ムック、うえたんなど。</u>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 昼間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	メディアデザイン応用	伊波英里	1.5単位 42時間
【授業の到達目標及びテーマ】			
多種多様な街頭ビジョンやデジタルサイネージが集まる"渋谷"の街を舞台に、デジタル広告の可能性を探ります。			
【講義概要】			
渋谷の街頭ビジョンやデジタルサイネージを使ったデジタル広告制作を想定し、企画、実制作、プレゼンまでを一貫して行います。実際の仕事の流れを体験することで、プロとしての制作スキルを養うことを目標とします。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション		
2	課外授業（渋谷）サイネージ視察		
3	企画立案／リサーチ・企画書制作		
4	企画書初回提出：A		
5	企画書初回提出：B		
6	企画書修正提出・絵コンテ初回提出：A		
7	企画書修正提出・絵コンテ初回提出：B		
8	動画制作		
9	動画制作		
10	動画初回提出：A		
11	動画初回提出：B		
12	動画修正提出：A		
13	動画修正提出：B		
14	プレゼン・講評		
【成績評価方法】			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
【授業の特徴・形式と教員紹介】			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。  2003年創形美術学校ビジュアルデザイン科卒業。ニューヨーク滞在を経て、2010年よりアートディレクター／グラフィックアーティストとしての活動を開始。グラフィックデザインに軸足を置きつつ、広告や映像制作、空間演出など、多岐に渡り活躍中。近年の主な仕事にWoltCM、PARCO広告など。			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	グラフィックデザイン応用A	草谷隆文	3単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>「条件のある」「与えられたテーマ」を、自身の個性や特性をバランス良く取り入れたポスター制作をする。また、長期間にわたる制作期間を、上手くスケジューリング出来るようにする。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>実際のコンペに各自参加し、コンペのテーマを全員で理解し、研究する。そして、ディスカッションをしながら、各自に合ったテクニックや表現方法をそれぞれ指導していく。事前準備や 作業の進め方は授業の中で説明。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	面談	22	制作
3	テーマ発表	23	制作
4	制作	24	制作
5	制作	25	制作
6	制作	26	制作
7	各自テーマ決定	27	講評会
8	制作		
9	制作		
10	面談		
11	制作		
12	制作		
13	制作チェック		
14	制作		
15	制作		
16	面談		
17	制作		
18	制作チェック		
19	制作		
20	面談		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。          なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。          合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p>			
<p>1963年静岡県生まれ。1985年玉川大学文学部教育学科教育哲学専攻卒業。1989年廣村デザイン事務所入社。1996年有限会社草谷デザイン事務所設立。  <u>【入選/受賞歴】</u> 1994年準朝日広告賞。1995年JAGDA新人賞。2001年グッドデザイン賞部門賞。2008年準朝日広告賞。2009年朝日広告賞グランプリ。</p>			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・前期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	ポートフォリオ制作	田中北斗	3単位 81時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
各自の就職活動に合わせ、戦略的なポートフォリオの充実を目指します。			
<b>【講義概要】</b>			
各自の就職活動に合わせたポートフォリオの制作。エントリーする企業を分析し戦略的に編集、デザインをしていきます。自主課題に取り組みながら作品を増やし、掲載する作品撮影（物撮り、イメージ撮影）についても自主的に行います。			
回	授業計画及び学習の内容		
1	オリエンテーション	21	制作
2	制作	22	制作
3	制作	23	制作
4	制作	24	制作
5	アイデア ラフチェック 面談	25	制作
6	制作	26	制作
7	制作	27	講評会
8	制作		
9	制作		
10	制作		
11	アイデア ラフチェック 面談		
12	制作		
13	制作		
14	制作		
15	デザイン チェック 面談		
16	制作		
17	制作		
18	制作		
19	制作		
20	制作		
<b>【成績評価方法】</b>			
課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。			
1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)			

# 創形美術学校

開講課程	開講学科	開講年度	履修対象
美術造形専門課程	ビジュアルデザイン科 屋間部 (3年制)	2024年度	3年GD専攻・後期
講義区分	授業科目名	担当教員	単位・時間数
実技	卒業制作	田中北斗	16単位 408時間
<b>【授業の到達目標及びテーマ】</b>			
<p>創形で学んだ3年間の集大成として、自身の表現の領域に於けるクオリティを追求しつつ、卒業制作としてふさわしい、社会性を意識した完成度の高い作品を制作します。そのうえで校内外の卒業制作展で発表することを目標とします。 プロのクリエイターとして充分通用する表現とプロとしてあるべき姿勢を求めます。</p>			
<b>【講義概要】</b>			
<p>卒制ガイダンスにて、詳細は説明します。 各専攻の専任教員の個別指導に従い、コミュニケーションを大切にしながらゼミ形式での授業を行います。</p>			
回	授業計画及び学習の内容		
1	～5 制作、制作指導	86	～90 制作、制作指導
6	～10 制作、制作指導、中間チェック	91	～95 制作、制作指導
11	～15 制作、制作指導	96	～100 制作、制作指導
16	～20 制作、個別指導	101	～105 制作、制作指導
21	～25 制作、個別指導、中間チェック	106	～110 制作、制作指導、中間チェック
26	～30 制作、制作指導	111	～115 制作、制作指導
31	～35 制作、制作指導	116	～120 制作、制作指導
36	～40 制作、個別指導、中間チェック	121	～125 制作、制作指導
41	～45 制作、個別指導	126	～130 制作、制作指導
46	～50 制作、個別指導	131	～135 制作、制作指導
51	～55 制作、制作指導	136	講評会
56	～60 制作、個別指導、中間批評会		
61	～65 制作、制作指導		
66	～70 制作、個別指導		
71	～75 制作、個別指導、中間チェック		
76	～80 制作、個別指導		
81	～85 制作、個別指導、中間チェック		
<b>【成績評価方法】</b>			
<p>課題作品を100点満点として採点する。授業への参加・意欲などを考慮し、成績評価を行う。 なお出席が全体の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となる。 合格：(100～95：A+ 94～80：A 79～70：B 69～60：C) 不合格(59～0：D) 仮処置：保留</p>			
<b>【授業の特徴・形式と教員紹介】</b>			
<p>実技演習形式を基本とする。各回で幾つかの課題を課して習熟度を検証する。</p> <p>1971年東京都生まれ。1994年創形美術学校グラフィックデザイン科卒業。1995年同校研究科修了。2002年ホクトデザインルーム設立。企業や店舗のブランディング、グラフィックデザイン、WEBディレクションなどを中心に活動。豊島区のイベントプロデュースも手掛ける。東京都中小企業支援専門家(デザインコンサルティング)</p>			